

地味な通信

2023年8月号 (vol.17)



ショウガ

先日、近くのスーパーに歩いてお買い物に行き途中、工場の入り口の門越しに可愛い猫ちゃんがごろんとくっついていたので、ご挨拶をして(笑)おに再び歩き出しました。

30分位買い物をして帰り道、「...あの猫ちゃんいるかなあ、いや流石にどこかに引っ越したんだろうなあ〜」と思いつつ、ドキドキ、そしてあの場所を覗くと... いたー!! まだくっついてる〜! もう会えないと思っていた人(猫)に会えた時の嬉しさ!! のような、この再会にめちゃくちゃ喜んでました。

わがしのお気に入り

ロバート・ピー・ミラーのタンクトップ

一枚でもさらさら着れて、ちらっと見せた重ね着スタイルでもかわいくて、着心地も良くてじゃんじゃん洗って大丈夫です。

丈夫でくすみにくい〜そんな夢のようなタンクトップ欲しいなあと思いつつ、だいたい高価すぎるのも勇気が出ないし〜(歴代着ていたものは、2,3回着るとすぐクタクタになっていた言外意があって... どんなの買ってただって話ですおね笑)

そんな中、実はずっと気になっていたタンクトップがあって、いつぞやか買ってみたんです。

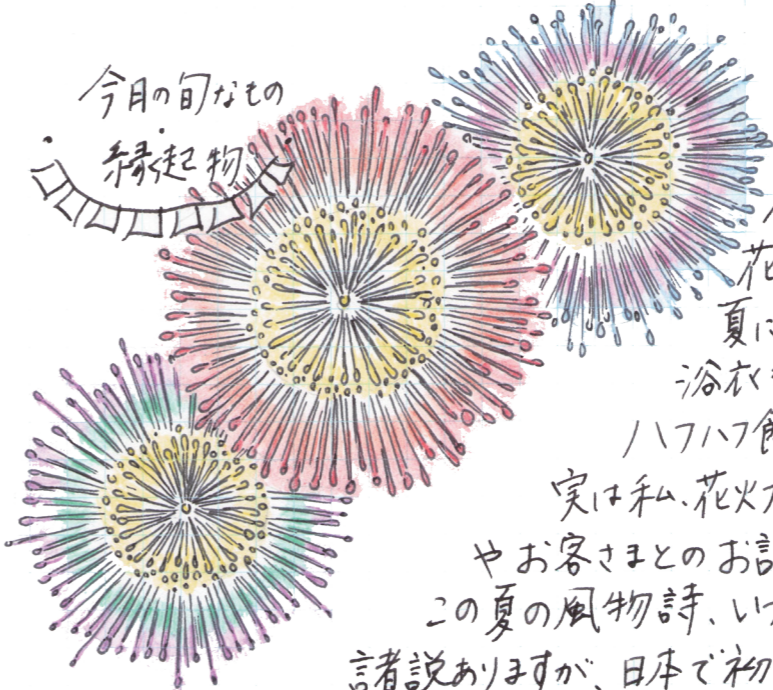
着てみたら「おお〜良い!」と思わず声が出ました(笑)

ロバート・ピー・ミラーはアメリカ・アーカンソー州のアンダーウェアブランドです。柔らかく肌触りのよいコットン100%で、「パネルリブ」という独自の技法で糸編まれた生地は、触るとふわふわしているんですが、丈夫で糸程よいフィット感と伸縮性がある為、着心地の良さが長く続きます。しかも定価で1,000〜2,000円台とお手頃! ずっと愛用したい糸の中の定番タンクトップです。



今日の旬な話題

縁起物



ヒュルルルルル〜ッ...

っどおーん!!...パチパチパチ...

仕事終わりに歩いていると、偶然遠くで上がる花火が見えて、綺麗だなあ〜としばしうっとり。夏になると各地で開催される花火大会。

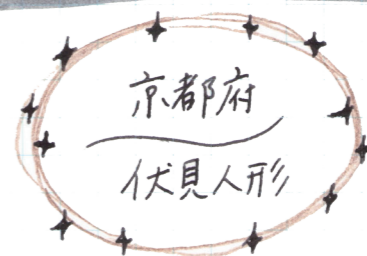
浴衣を着ておめかして、屋台で買ったたこ焼きをハフハフ食べて... 皆さん、何か思い出ありますか?

実は私、花火大会はあまり行ったことがなくて、テレビの映像やお客さまのお話の中で花火大会を満喫していたクチです(笑) この夏の風物詩、いつから始まったのかというと...

言者説ありますが、日本で初めて花火が打ち上げられたのは江戸時代、1733年に隅田川で行われた水神祭だといわれています。その当時、大飢饉により多くの犠牲者が出ました。その犠牲者たちの慰霊と疫病退散を祈って水神祭を行い、そこで花火が打ち上げられました。

そしてそれが段々と夏の小豆例行事と定着してゆき(現: 隅田川花火大会)、打ち上げ花火は全国へと広まっていきました。現在の花火大会でもお盆にご先祖さまの霊を迎えるため、戦没者の慰霊として開催されているものもあります。

日本中の花火師たちが腕を競い合うものや、土掛けが沢山でアグレッシブな打ち上げ花火が上がる大会も多いですが、地域に根付いた昔ながらの花火大会も大好きな私です!



伏見稲荷大社の神様の御使い、「狐」をモチーフに作られたものです。

半分に割ったおまんじゅうを手に持った男の子の人形「金頭喰い」。これを飾ると子どもが賢くなると言われていました。

日本最古の郷土玩具で、全国にある土人形(土人)の原形とも言われている伏見人形。江戸時代初めごろから伏見稲荷大社付近で、角鳥(いかるが)幸右衛門が土人形の玩具として作ったことが始まりとされています。多い時で約60軒もの窯元がありました。現在では一軒のみとなっています。

とっても素朴な佇まいなんですが、それぞれのキャラクターがなにもユニークでかわいいのです!

布袋様、熊や狐、干支や人など種類も沢山でその多くは当時の風俗や伝説がモチーフとなっているそうです。



日々のすみこ

のんびり温活 ~身に付けるもの編~

たれし通信4号でもちらっと書かせていただいたのですが、数年前からゆる〜く温活をやっています。

10代のは頃からとにかく手足がいつも冷たくて、体温も低め(35℃台)。体質なんだろうなと、特に対策もせず大人になって

いきました。「冷えは万病のもとで努力すれば改善される!

ということを学んだのは30代半ば…。今思えばいつも気持ちは元気

いっぱい!なので、一方で胃腸が弱かったり、生理不順だったり

不調な日も多く、周りに本当によくバウイングしていただいていたなあと、思います。

若い頃は気合で乗り切っていたんですかね?(笑)

「冷え」だけが原因とは限りませんが、とにかく体温は上げた方がいいに

決まってる!と思い、まず「最初に始めたのが、ご近所に住む仲良し

さんに教えてもらった「冷えとり靴下」(薄手の靴下の重ねばき)。

それから天然素材のスパッツを履いたり、腹巻を巻いたり。

少しぬるめの湯舟にゆっくり浸かった後は、ちゃんとパジャマを着て

お布団に入って寝る。着倒けに適切なものではなく、身に付けるものも

ちゃんとは天然素材の着心地のよさにも気づき始めた頃でした。

けれどそれでも当時は全部完璧にするのは難しく、できる時にできるだけ、

のペースでやっていました。それを5・6年やってその後少しだけ何もやらない

時期があり、再び復活して現在3年目くらいです。

今は、腹巻と薄手のレッグウォーマーをほぼ毎日着用しているくらいで、あとは

なるべく糸帯めつけないような各各好でゆるゆるとのんびり温活をや

っています。これがひとつも苦じゃなくて、今は自分のことを可愛がっている感じ?(笑)

なので、温活することとても自然な気分。体や心が温まると肩のカモ

ふうと抜けてくるような気がします。昔は本当に自分のことを後回しにして

なあと改めて思います。ここが昔と大きく違うことも矢張りません。

他に持っているアイテムは、首と肩の部分だけの薄手タートル、寝る時用のネックウォーマーと

薄手アムウォーマー(付けるのを忘れて寝ちゃうこと多い笑)。いつもスツケスに入れてる主力

メンバーたちです。

無理なくできる時にというスタンスなので結果もゆるゆるですが35℃台は無くなり、

平熱時で36.2~36.4くらいになりました(やっ!笑)。今の目標は

1番低くて36.5℃なので、無理せず楽しく温活を続けていきたいと

思います。

夏の必需品パジャマ PRISTINEのカーセのパジャマ



夏でも体が冷えやすいので、なるべく長袖を着ています。

このパジャマは、薄手でオーガニックコットンなので夏でも快適です。



うす〜い タートルの付け袖は、一日中冷房の交かいた室内にいる時などにもおすすり!



アムウォーマー糸帯めタイプ

てんてん 舞子の家事日記

登場人物: 舞子
新住居: 舞子、家事は
ほほほ〜とがたふいで
勉強中。母は無類の
たれし女子。



2023年8月21日(月)

そう…何を隠そう舞子はめんどくさがり屋の顔を持つ、「舞子」。(笑)

部屋が汚くてお掃除しなきゃなって思いつても違うお部屋に置いてるほうきを

取りに行くのが少し面倒で、後回しにしちゃったこと!(笑)お家の各所にほうきが

あって、わざわざ取りに行かなくてもその場でサッと掃除ができたらいいなあ…なんて(笑)。それは

贅沢だけど、玄関のたたき用と室内のちまると掃除用に小さめサイズのほうきが浴衣いふと

思っていたの。それなら先日ママが片手で使うのにちょうど良い長さの、スリムな三玉ほうきのおさがりを

くれて!それは玄関用に使わせてもらって、室内用には同じ三玉で更に柄が長いタイプ(柄を省いて

私の胸の高さくらい)を買って足してみよう!

しゅろのほうきは糸田かゴミやちまつけ、段差・隙間のお掃除も得意!糸田くてやさしい繊維

がふわと密集しているので、玄関の隅やタイルの目地に溜まった砂埃もよく取れるなあ〜。

シューズボックスの中は勿論、棚下や横の隙間にもスルッと入ってお掃除しやすい。室内用は気になる

部分のお掃除に大活躍!階段や洗面所、あ!キッチンで〇〇こぼしちゃった!(舞子あるある)

片手でも便利なのがなあ〜。

使ってみて分かったのは、このサイズはとても軽いから使うのが楽なこと!階段を下りながら壁や

吹き抜け部分をお掃除してみたり、玄関先の高い所を軽いかでサッと掃けちゃう!

めんどくさがりのお母が、通りすがりにお掃除するようになりました!(あ、でもお掃除以外ではお母が

重い腰が上がらないことが多い…笑)

※舞子身長160cm

暑い毎日、どうぞお体お気を付けて!

7月26~8月1日
愛知(江アール名古屋タキシマヤさま)

8月2~7日
東京(日本橋三越さま)

8月16~22日
熊本(鶴屋百貨店さま)

8月30~9月5日
大阪(あべのハルカス近鉄本店 暮らしのデザインKITASさま)

8月・9月
イベント
小情報!

OPEN

ぜひぜひ
お気軽に
お立ち寄り
ください!

9月6~11日
兵庫(大丸神戸店さま)

9月14~19日
福岡(西日本陶磁器フェア9さま)
in 北九州、西日本総合展示場

9月27~10月3日
福岡(博多阪急さま)

